

オープンアクセスウィーク？

学術研究とその普及をそれぞれの立場で担う、研究者、学生、大学・研究機関、学会、学術出版社の間で、オープンアクセスについての認識を共有し、その促進を図ることを目的として定められた国際的な週間です。

今年は10月19日（月）～25日（日）がOAW2015と定められ、世界各国で、さまざまな催しが行われます。

それでオープンアクセスって？

インターネットを通じて研究成果を無料で公開し、世界の人々が、対価なくこれを享受できるようにすることです。

あなたの研究成果を国境を超え、時代を超えて、誰もが経済的負担なく利用できる、世界人類の共有財産としていきませんか？

オープンアクセスウィークについての詳細は
<http://openaccessweek.org/>

どうやってOAにする？

研究成果を、

- (1) 無料公開の電子ジャーナルに発表する
- (2) 有料の学術誌への掲載に併せて、大学・学術団体の運営するアクセスフリーのウェブサイトでも公開する

という方法があります。

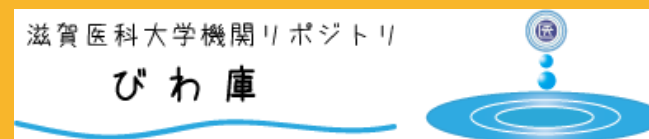
日本の大学・研究機関では？

各大学・研究機関では機関リポジトリと呼ばれるウェブサイトの整備をすすめています。

大学・研究機関に所属する研究者は、自らの執筆した研究論文や学会発表スライド、市民向け読み物から、同業者と共有したい実験データ・観測データ類まで、さまざまな学術研究活動の所産を、機関リポジトリを通じてオープンアクセス化しつつあります。

滋賀医科大学機関リポジトリ「びわ庫」

滋賀医科大学では、機関リポジトリ「びわ庫」を構築し、公開しています。



<http://repository.shiga-med.ac.jp/dspace/index.jsp>

現在の登録コンテンツ数は

2,850件

2014年の年間ダウンロード数は

86,543回

今後もますます「びわ庫」の水位が上昇しますよう、みなさまからの資料提供をお待ちしております。

「びわ庫」に関するお問い合わせ・ご相談は、
図書課情報管理係までお願いいたします。
内線2079 repository@belle.shiga-med.ac.jp